

1 国語に関する調査

【特長】

- ・図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかを見る問題がよくできている。各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめの活動を行ってきた成果だと考えられる。
- ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことが、よくできている。

【課題】

- ・漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。日常生活においても文や文章の中で漢字を使う習慣を身に付けるようにし、漢字の定着を図りたい。
- ・情報と情報との関係付けの仕方を理解して使うことや、目的に応じて文章と図表を結び付けることに課題が見られる。複雑な事柄などを分解して捉える、類似する点を基にして他のことを類推するなどの活動を取り入れる。

2 算数に関する調査

【特長】

- ・示された資料から、条件に合った項目や情報を選んだり、数量の関係を式に表し計算したりすることがよくできている。
- ・角の大きさや小数の加法の問題がよくできている。多くの児童が基礎的な知識や技能を身に付けている。

【課題】

- ・百分率の意味を理解し、増加させた後の量がもとの量の何倍になっているかを表す問題の正答率が低い。図を用いて、比較量が基準量（もとの量）より増えていることを視覚的に理解できるようとする。
- ・「数と計算」の領域においては、分数の問題に課題が見られる。分数の仕組みを十分に理解したり、計算方法について習熟したりする時間を十分に取る必要がある。

3 理科に関する調査

【特長】

- ・水の温度と体積の変化を根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現することがよくできている。

【課題】

- ・「金属の性質」や「花のつくりと受粉」についての知識に課題が見られる。時間が経過しても学習内容を忘れてしまわないように、復習方法を見直したり事後も興味が持続するような指導を行ったりする。

4 児童質問紙の結果より

【特長】

- ・「友達関係に満足している」「お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」という質問に肯定的な回答が多く、友達と良い関係を保ちながら学校生活を送ることができていると考えられる。
- ・「自分にはよいところがある」と思っている児童や「先生はよいところを認めてくれる」と思っている児童が多く、自己肯定感が高いと考えられる。

【課題】

- ・PC やタブレットなどの ICT 機器について、文章の作成や情報の整理、プレゼンテーションの作成などができるかを問う質問に、肯定的な回答をした児童の割合が低い。ICT 活用についての指導を工夫する必要がある。
- ・学校外での学習時間や読書の時間について、「全くしない」と回答した児童の割合が高い。家庭学習や読書の習慣が身に付くよう働きかける。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と感じている児童が多く、「わたしとみんな」（やわた3つのこころ）が浸透してきている。周囲とのかかわりを通した学習を今後も大切にする。
- ・総合的な学習の時間や各教科の中で、自分で課題を立てて調べ、情報を整理して発信するなどの活動を効果的に取り入れるとともに、一人一人の ICT 活用能力を高める指導をする。
- ・本や資料を使って調べてみたい、もっと読んでみたいといった気持ちを喚起するような学習や活動、環境づくりを心がける。
- ・友達や先生との関係が良好であることを活かし、相談しやすい雰囲気づくりに努め、これからも児童が安心して学校生活を送れるようにしたい。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・健康的で規則正しい生活習慣が、充実した学習や活動につながります。早寝早起き、朝食をとつてからの登校など、基本的な生活習慣が継続できるよう今後ともご協力ください。
- ・家庭学習や読書について、お子さんが自分で学習の計画を立てて取り組んだり、読書に親しんだりすることができるよう、励ましや環境づくりにお力添えをお願いします。
- ・人の役に立ちたいと思っているお子さんが多くいます。地域の一員としての意識や参画への意欲が高まるよう、一緒に地域行事に参加するなどのサポートをお願いします。